



基本方針

観光振興を図るため、広域観光ルートの整備を進めるとともに、新たな観光資源の発掘や効果的なPR方法の検討を進めます。また、地域の魅力を積極的に発信し、移住定住を促します。

現況と課題

社会全体の現況と課題

- 新型コロナウイルスの世界的感染拡大直前までは、訪日外国人観光客が大幅に増加し、観光の目的が「物」から「体験」に変化してきた中で、地域固有の資源を生かした個性豊かなまちづくりや観光イベントの開催が注目されています。
- テレワークによる二地域居住などの新たな働き方は、地方への定住を促す可能性があります。そのため、観光人口が定住人口・関係人口につながるよう、戦略的なシティプロモーションの展開が重要となっています。

茂原市の現況と課題

- 最新の観光情報を提供するため、観光協会ウェブサイト及び観光ガイドブックの充実、市内外での観光PRイベントの開催などに取り組んできました。しかし、既存の観光資源や従来のPR方法では、四季を通じた集客やインバウンドの増加にはつながっておらず、更なる取り組みが必要です。
- 茂原市観光協会は、七夕まつりなどの観光イベントにおける新たな企画の考案等に取り組む、一定の成果を挙げてきましたが、更に活動の幅を広げる必要があります。
- 総合戦略に基づき、映画、テレビ番組等のロケーション撮影を通じた本市の魅力発信や知名度向上に努めてきましたが、まだ十分とは言えず、今後も効果的なPRに取り組んでいく必要があります。また、移住や定住を希望する人の受け入れ体制の拡充を検討する必要があります。

施策1 観光資源の整備

(1) 観光資源の整備

- ◇ 既存の観光資源について、他の観光施設と連携することで市内観光ルート、他市町村にまたがる広域観光ルートとして整備を進めます。
- ◇ 七夕まつりや桜まつりなど、市民参加が得られるイベント型観光資源の充実を図ります。
- ◇ 映画、テレビ番組等のロケーション撮影を誘致することで、新たな観光資源の開発を行い、ロケツーリズム*による観光振興を図ります。

(2) 産業の観光化

- ◇ 産業活性化のため、各種イベントの開催時に地場製品の宣伝を実施するなど、効果的なPR方法を検討します。
- ◇ 関係団体との連携による、里山などを活かした滞在型・体験型交流など、ニューツーリズム*の振興を図ります。

施策2 推進体制の整備

(1) 観光協会の活性化

- ◇ 観光事業の推進を図るため、既存観光資源の充実や、新たな観光資源の発掘に向けた取り組みに対して支援を行います。
- ◇ 観光事業者や関係者だけでなく、観光資源に接する市民も含めた会員拡大策を検討します。
- ◇ 観光事業の推進を図るため、観光パンフレット、グルメマップ、ロケ地マップなど観光PRの強化に努めます。

施策3 移住定住の促進

(1) 積極的な魅力発信

- ◇ 市民の参画を得ながら、茂原ブランドの浸透・共有と地域情報流通の促進を相互補完的に実施し、茂原の魅力向上や活性化につなげることで、交流人口や関係人口の増加を図ります。

(2) 受け入れ体制の整備

- ◇ 交流人口や関係人口の増加を移住・定住につなげるため、相談・支援体制の充実に努めます。

主要指標名	基準値	目標値
観光入込客数	1,340,016 人（令和元年度）	1,400,000 人（令和7年度）
ロケーション撮影の実績件数 （累計）	89 件（令和元年度）	339 件（令和7年度）
空き家バンクの契約件数（累計）	6 件（令和元年度）	16 件（令和7年度）

関連する時間的・空間的視点に関わる取り組み	
時間的視点	シティプロモーションにおいて、定住後のライフステージに応じた暮らし方がイメージできるよう、世代ごとのアピール方法を工夫します。
空間的視点	周辺自治体との連携を深め、広域観光ルートを整備するほか、都市部からの関係人口の増加を狙ったシティプロモーションを展開します。

施策の対象となる領域			
	個人・家庭	生活圏域	市域・広域
生まれる・育つ・学ぶ			
働く			
老いる			

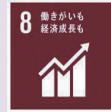


▶ 関東三大七夕まつりの「茂原七夕まつり」



▶ ロケーション撮影風景

テーマ 4 雇用



基本方針

雇用の場づくりを促進するとともに、豊かでゆとりある生活に向けた勤労者福祉の充実に努めます。

現況と課題

社会全体の現況と課題

- 長時間労働や雇用形態による処遇の格差、職場内のハラスメント*など、労働に関する様々な問題が顕在化しています。平成 31（2019）年 4 月には、働き方改革*を推進することを目的とした働き方改革関連法が施行され、子育てや介護との両立ができる柔軟な働き方など、性別や年齢、障害の有無にかかわらず、誰もが活躍できる全員参加型の社会の実現に向けた取り組みが進んでいます。

茂原市の現況と課題

- 少子高齢化による生産年齢人口の減少から今後起こる労働力人口の減少に対応するため、働く意欲を持つ若年層や高齢者、結婚や出産を機に仕事を辞めることが多い女性に対し、就労に向けた支援を行う必要があります。

施策1 雇用の充実

(1) 雇用の促進

- ◇ 就業の確保を図るため、関係機関との連携を通じ、雇用に関する情報の提供に努めます。また、職場定着に向けたセミナー開催の支援や、情報発信に努めます。

(2) 勤労者福祉の充実

- ◇ 勤労者厚生資金を活用することにより、勤労者の生活向上への支援を行います。

主要指標名	基準値	目標値
関連機関との連携によるセミナー等開催件数	15件（令和元年度）	20件（令和7年度）
有効求人倍率	0.89倍（令和2年9月）	1.0倍（令和7年）

関連する時間的・空間的視点に関わる取り組み	
時間的視点	働く意欲を持つ人が、個別の家庭状況やライフステージに応じた柔軟な働き方ができるよう、就労支援を行います。
空間的視点	ハローワーク茂原や千葉ジョブサポートセンターなど広域の関連機関との連携を深め、支援の強化に努めます。

施策の対象となる領域			
	個人・家庭	生活圏域	市域・広域
生まれる・育つ・学ぶ			
働く			
老いる			

